

施策評価調書

整理番号 **22**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	IV 生涯学習都市
施策名	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用

所管部局	所管部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡 喜代和

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市文化財マスタープラン	市内に所在する多岐にわたる文化財を適切に保護し、その中から特に学術的に重要で、まちづくりの観点からも価値が高いと判断される史跡等文化財に対して、保存及び活用整備を進めるための方向性を示すもの	平成18年10月		計画期間なし
国史跡網野銚子山古墳整備基本計画	「丹後王国」を代表する国史跡網野銚子山古墳に関して、京丹後市史跡整備検討委員会を組織して専門的な立場、地元からの検討を加えて基本計画を策定した	平成23年3月	当面の計画として概ね6年間	当面整備計画として概ね6年の計画も策定

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	歴史資料館として資料館の常設展示、特別展示・企画展示や体験実習メニューの充実により入館者数を増加させることで、本市の優れた文化財の普及啓発を図り学習活動、観光につなげる。	1 歴史資料館のネットワーク
2	「丹後王国」時代の優れた史跡整備を進めることで、市民に丹後の歴史を学ぶ場を提供し、郷土愛と郷土の誇りを培う。併せて、市外の人に丹後の歴史に関心を持たせ、観光資源としても活用する。	2 丹後王国の歴史文化の保存・発信
3	京丹後市にある貴重な文化財の保全を図り、文化財を活用して文化財セミナー、京丹後史博士講座、歴史講座などの普及啓発活動を開催することで市民に京丹後市の歴史文化財を学んでもらい、郷土愛を培う。	3 文化財の保存と活用
4	京丹後市史の本文編及び資料編の刊行を通して、京丹後の歴史を学び、まちづくり地域づくりに生かしていく。	4 市史編さんの取り組み

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		H23年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
	「丹後王国」の情報発信の力を高めます	文化財博士登録制度の登録者数	0人	H16	34人	H20	41人	H23	100人	H26
		京丹後市史の刊行	新規	-	0巻	H20	4巻	H23	14巻	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値 (現状)		目標	
				年度	数値	年度	数値	年度	数値
	なし								

4 評価結果一覧 **DO**

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業評価結果								施策評価結果		
			H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 歴史資料館のネットワーク	1 郷土資料館管理運営事業	文化財保護課	2,363	2,278(2,249)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1	A	拡大
	民俗資料を保管・公開し、文化財の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営(入館者数556人)														
	2 古代の里資料館管理運営事業【2にも該当-3】	文化財保護課	8,709	8,825(7,963)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1,2	A	現状維持
	考古資料・美術工芸品を保管・公開し、文化財の普及啓発を図る資料館の管理運営(入館者数3,343名)														
	3 指定管理施設運営事業	文化財保護課	7,468	7,729(7,729)	市規定	含む	単費	サービス	市民	指・他	3	個性魅力	1,3	S	拡大
	琴引浜鳴き砂文化館の運営・維持管理(入館者数:11,769人)														
2 丹後王国の歴史文化の保存・発信	1 遺跡整備事業【3にも該当-9】	文化財保護課	278	96(96)	国規定	含む	単費	施設整備	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	拡大
	史跡整備検討委員会を立ち上げ、「国史跡網野銚子山古墳整備基本計画」を策定														
	2 文化財保護啓発事業【再掲】3-2	文化財保護課	1,273	683(663)	市規定	含む	他	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,2,3	A	拡大
	資料館での企画展示や文化財セミナー(2回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施														
	3 古代の里資料館管理運営事業【再掲】1-2	文化財保護課	8,709	8,825(7,963)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	1,2	A	現状維持
	考古資料・美術工芸品を保管・公開し、文化財の普及啓発を図る資料館の管理運営(入館者数3,343名)														
3 文化財の保存と活用	1 文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課	259	516(516)	市規定	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	4	B	現状維持
	市文化財指定・解除等を諮問する文化財保護審議会の開催経費等(委員報酬・視察研修費)														
	2 文化財保護啓発事業【2にも該当-2】	文化財保護課	1,273	683(663)	市規定	含む	他	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	1,2,3	A	拡大
	資料館での企画展示や文化財セミナー(2回)・「京丹後市博士」育成講座(12回)の実施														
	3 文化財保護啓発事業【事故繰越】	文化財保護課	-	300(300)	平成23年度から平成24年度への繰越事業										
	平成23年度事業の一部を繰り越して実施する事業														
	4 市指定文化財等補助金	文化財保護課	2,000	2,000(2,000)	市規定	含む	単費	維持管理	団体	補	3	個性魅力	3	A	現状維持
	文化財の修理保全事業に対して補助金を交付(14件)														
	5 史跡等維持管理事業	文化財保護課	1,407	2,334(2,334)	国規定	-	単費	維持管理	団体	直・委	3	個性魅力	2,3	B	現状維持
史跡等の維持管理、指定文化財の補修・草刈等を実施															
6 文化財整理事業	文化財保護課	303	229(229)	市規定	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	3	B	現状維持	
写真資料のデジタルデータ化(3,684点データ化)															
7 遺跡発掘調査等事業	文化財保護課	2,060	2,139(639)	国規定	-	国・一部	内部管理	-	-	-	-	2,3	A	現状維持	
市内遺跡分布調査を実施、赤坂今井墳墓出土品のうち鉄製品の理化学的保存処理															
8 文化財保護一般経費	文化財保護課	604	567(567)	なし	含む	単費	サービス	団体	直・補・負	3	個性魅力	3	B	現状維持	
文化財保護関係団体への負担金支出、関係団体への補助金交付及び施設の維持管理															
9 遺跡整備事業【再掲】2-1	文化財保護課	278	96(96)	国規定	含む	単費	施設整備	市民	直・委	3	個性魅力	2	A	拡大	
史跡整備検討委員会を立ち上げ、「国史跡網野銚子山古墳整備基本計画」を策定															
4 市史編さんの取り組み	1 市史編さん事業【明許繰越】	文化財保護課	650	-	市規定	含む	単費	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	4	B	現状維持
	丹後町内社寺建築調査を委託により実施し、報告書を刊行(60冊)														
	2 市史編さん事業	文化財保護課	8,603	11,876(11,876)	市規定	含む	単費	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	4	A	現状維持
本文編2冊と資料編12冊の刊行のため各種調査の実施、資料編『京丹後市の伝承・方言』を刊行(600部)															
3 市史編さん事業【明許繰越】	文化財保護課	-	2,300(2,300)	平成23年度から平成24年度への繰越事業											
平成23年度事業の一部を繰り越して実施する事業															
			計	35,977	41,872(39,461)										

※ 合計金額には再掲事業は含んでおりません。

5. 今後の施策展開について **ACTION**

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	市史編さん事業について、調査方法の見直しを行うことで、経費の削減を図っており、引き続き効率的な調査を実施していく。	

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書 P.342
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
2,363千円		2,392千円	29千円	98.7%
目的	京丹後市内でかつて使用された生活道具（民俗資料）を収集・調査・保管し、広く市民や市外からの来訪者へ公開する郷土資料館の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成23年度入館者数 885人（平成22年度入館者数 564人）</p> <p>○人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金・共済費 1,593千円 臨時職員3人分の賃金と労災保険料 <p>○維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 79千円 ・光熱水費 134千円 ・電話料 42千円 ・火災保険料 54千円 ・機械警備委託料（長期継続契約） 214千円 ・コピー機借上料（長期継続契約） 101千円 ・清掃用具借上料 11千円 ・テレビ受信料 15千円 ・施設修繕料 60千円 <p>○パンフレット印刷経費 35千円</p> <p>○体験用経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料費（勾玉作り材料） 25千円 			
主な財源	使用料 郷土資料館入館料			20千円
評価・課題等	<p>○平成23年度の年間入館者数は、平成22年度に比べ増加した。学習指導要領改定により小学4年生に加えて3年生の見学が増加するなど、地域学習のニーズは高まっており、より学習効果を高める工夫が必要である。</p> <p>○昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、建築の老朽化が進んでいるため、施設の改修が検討課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業			決算書 P.342
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
8,709千円		9,023千円	314千円	96.5%
目的	京丹後市に数多く残されている考古資料や美術工芸品を収集・保管・調査し、広く市民や市外からの来訪者へ公開する丹後古代の里資料館の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈・寄託を受けた考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。</p> <p>平成23年度入館者数 3,343人（平成22年度入館者数 3,939人）</p> <p>○人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料館長報酬、費用弁償 2,383千円 <ul style="list-style-type: none"> 資料館長報酬 166,500円×12か月=1,998千円 ・臨時職員賃金、共済費 3,249千円 <ul style="list-style-type: none"> 臨時職員3人分の賃金と労災保険料・社会保険料事業主負担分 <p>○維持管理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 1,558千円 ・消耗品等 237千円 ・通信運搬費等役務費 186千円 ・機械警備委託料 189千円 ・浄化槽維持管理委託料 299千円 ・土地借上料（2,915㎡） 121千円 ・その他管理経費（清掃用具借上、コピーリース、小修繕等） 305千円 <p>○パンフレット・ポスター印刷製本費 115千円</p> <p>○体験用経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） 67千円 			
主な財源	使用料	古代の里資料館入館料		521千円
	使用料	公有財産使用料		101千円
	諸収入	古代の里資料館陶芸体験実習料		173千円
	諸収入	古代の里資料館書籍販売代金		148千円
	諸収入	古代の里資料館物品販売代金		7千円
評価・課題等	<p>○平成23年度の年間入館者数は平成22年度に比べ減少したが、小学校6年生の歴史や総合学習の時間の見学もあり、小中学校の地域学習の拠点施設としても活用することができた。</p> <p>○展示ケース等の構造上、市内から出土している貴重な重要文化財の展示ができないことが課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.344
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
7,468千円		7,468千円	0千円	100.0%
目的	琴引浜の美しい自然と鳴き砂を広く普及啓発するための施設である琴引浜鳴き砂文化館の適正な管理運営を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂の学習施設や環境学習の施設として、環境保全について学べる施設として指定管理制度を導入し、掛津区が管理運営にあっている。教育施設の性格を持つとともにジオパークを紹介する展示を行うなど観光施設ともなっている。</p> <p>平成23年度入館者数 11,769人（平成22年度入館者数 11,711人）</p> <p>○委託料 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 6,268千円 （運営に必要な人件費、施設の維持管理経費）</p> <p>○使用料及び賃借料 1,200千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○平成23年度の入館者数は、前年に比べ若干増加した。各種の展示事業、自主事業にも取り組み積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業への支援・協力など行政と連携し、京丹後市のジオパーク拠点施設としての役割を果たすことができた。</p> <p>○山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークへ加盟認定されたのを契機に教育施設の性格に観光拠点としての機能も求められている中、施設や展示内容のリニューアルなどが課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
278千円		329千円	51千円	84.4%
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財を、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用するために環境整備を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成23年度は、日本海沿岸最大級の大型前方後円墳である網野銚子山古墳について、発掘調査の結果、史跡範囲が広がり、国指定史跡の追加指定がされたため、史跡整備検討委員会を立ち上げ整備基本計画の検討を行い、その検討結果を「国史跡網野銚子山古墳整備基本計画」にまとめた。</p> <p>○事業経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬費 史跡整備検討委員会委員報酬 (委員数13人) 108千円 検討委員会開催 3回 (10/3、2/13、3/7) 報酬対象委員11人 4千円 (半日) ×3回 ・旅費 検討委員会委員参集旅費 137千円 ・委託料 検討委員会移動バス運転委託料 14千円 ・使用料及び賃借料 検討委員会会場借上料 5千円 有料道路通行料 14千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○網野銚子山古墳が国指定史跡に追加指定されたことを受け、網野町の基本構想を基に整備基本計画を策定した。市内においては、活用に供するよう環境整備が行われている文化財は少なく、本古墳の整備を実施することで、特色あるまちづくりのための活用に資することが期待できる。</p> <p>○今後は用地取得、各種調査等を経て、環境整備事業実施へと取り組みを進めることが課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
259千円		356千円	97千円	72.7%
目的	文化財保護審議会は本市の文化財の指定・解除等を諮問する附属機関であり、文化財の保全及びその活用について調査し、審議を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○文化財保護審議会の開催経費（委員数：10人） 192千円</p> <p>市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会の開催。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 (半日) 4千円×4回 171千円 (1日) 7千円×1回 ・費用弁償 21千円 <p>○文化財保護審議会委員視察研修費 67千円</p> <p>文化財保護審議会の活動に必要な知識等を深め、史跡の整備活用の先進地を視察し京丹後市の文化財行政に活かすため視察研修を行った。</p> <p>2月29日 (奈良県、平城宮跡、歴史館、黒塚古墳、馬見丘陵など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(9人) 19千円 ・その他経費 48千円 (燃料費、バス運転委託料) 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○両丹文化財保護連絡協議会では、参加市町間において意見交流を行うことができた。</p> <p>○委員視察研修では史跡整備などをテーマに視察し、今後の文化財行政への活用を検討することができた。</p> <p>○多数の文化財について限られた回数の審議会の中でいかに効率よく審議するかが課題である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
1,273千円		1,628千円	355千円	78.1%
目的	京丹後市に数多く残されている文化財や、その調査成果などを広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財保護の重要性を知ってもらい文化財の普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	来訪者のために、市内各地に残る指定文化財などの貴重な文化財を観覧する展示会を開催し、展示会とリンクする形で「京丹後市史」をはじめとする文化財の調査成果を広く周知するための講座を開催し、記録集、啓発用の小冊子を作成した。			
	○丹後建国1300年記念シンポジウム「丹後二大古墳と古代タニワ」 会場：アミティ丹後 平成23年12月11日 参加者200人			
	講師謝金、費用弁償（3人）			167千円
	ポスター、当日資料集・記録集（300冊）等印刷費			512千円
	会場使用料、看板など			137千円
	○文化財セミナー			
	講師謝金、費用弁償（2人）			84千円
	・第1回「永浜宇平の後半生」 平成23年6月12日 参加者60人			
	・第2回「久美浜代官所と丹後・但馬・美作」 平成23年6月12日 参加者110人			
	○「京丹後史博士」育成講座			
外部講師費用弁償（2人）			3千円	
・講座12回開催 受講生延べ285人 平成23年度京丹後史博士認定者7人				
○網野郷土資料館まつり 平成23年10月30日 参加者153人				
「織りの実演」謝礼（2人）			18千円	
○丹後古代の里資料館特別展示「永浜宇平の生涯2」 平成23年4月27日～12月25日				
展示ポスター・チラシ・資料調査旅費等			247千円	
小冊子「永浜宇平の生涯2」（1,000部）印刷			105千円	
参考	事故繰越しを除いた最終予算額		1,328千円	
	実質的な予算執行率		96.6%	
■平成24年度への繰越事業（事故繰越し）			300千円	
永浜宇平関係資料調査報告書			平成24年4月完了	
主な財源	諸収入	シホヅ 仏助成金	800千円	
	諸収入	京丹後史博士育成事業資料代	36千円	
評価・課題等	○価値の高い京丹後市の文化財を、市民や市外からの観光客等に理解してもらうとともに、各事業を通じて、平成25年度に迎える丹後建国1300年を意識した内容に取り組み、その機運醸成に貢献することができた。 ○展示会やセミナーなどで多くの人に参加してもらえるように、広報に努めていく必要がある。			
事業所管課		教育委員会事務局／文化財保護課		

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業						
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.348						
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用						
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率						
2,000千円		2,000千円	0千円	100.0%						
目的	京丹後市内にある貴重な文化財を次世代に引き継ぐために、京丹後市指定文化財等補助金交付要綱に基づき、文化財の修理保全事業に対して補助金を交付する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市指定文化財等補助金 14件 2,000千円</p> <p>内訳 ・ 社寺等文化資料保全補助金該当分 11件 1,642千円</p> <p>・ 国、府指定補助金該当分 3件 358千円</p> <p>事業対象は神社、寺院の建造物修理、郷土芸能の衣装道具の新調、絵画仏像の修理などで、事業総額は17,748千円であった。</p> <p>【参考】</p> <p>平成22年度事業実績</p> <table border="0"> <tr> <td>補助件数</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>2,500千円</td> </tr> <tr> <td>事業総額</td> <td>18,089千円</td> </tr> </table>				補助件数	18件	補助金額	2,500千円	事業総額	18,089千円
補助件数	18件									
補助金額	2,500千円									
事業総額	18,089千円									
主な財源										
評価・課題等	補助金交付により、文化財所有者等の負担軽減と貴重な文化財の保全を図ることができた。									
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課									

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
1,407千円		1,425千円	18千円	98.7%
目的	170件を数える京丹後市にある国指定・府指定・市指定文化財について、文化財の保全や啓発を行うため、指定文化財の補修や草刈等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,363千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財の見学の利用供与や、維持管理を行った。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳 竹野神社など16か所 ○指定文化財関連施設管理経費 41千円 郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 10千円 火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円 ○土地借上げ料 3千円 文化財看板設置場所年間借上料（3か所、4㎡） 			
主な財源				
評価・課題等	○史跡等の維持管理及び指定文化財の補修により、文化財の保全が図られた。また、草刈清掃等を行うことで、文化財見学等の利用促進につながり、文化財の活用が図られた。 ○文化財案内板、説明版の設置や更新等が必要な箇所も多くあるため、継続的な取り組みが必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業
細事業名	01 文化財整理事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
303千円		426千円	123千円	71.1%
目的	京丹後市に数多く残されている写真資料について、所在確認とデジタル化を行い、今後の活用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成20年度より、京丹後市が保有する膨大な写真を調査確認し、重要な写真をスキャンし、デジタルデータ化を行っている。平成23年度については3,684点をデジタル化できた。また、峰山総合公園の建設に伴い調査した発掘調査報告書を刊行した。</p> <p>○写真整理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員賃金（1人分） 139千円 （期間：平成23年12月12日～平成24年3月29日 56日間） ・手数料 1千円 <p>○発掘調査報告書刊行</p> <p>昭和63年から平成2年にかけて、峰山総合公園（都市公園）の建設に伴い発掘調査した「金刀比羅山古墳群・八幡池遺跡発掘調査報告書」を刊行（200冊）した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償金 56千円 報告書の資料整理作業員謝金 ・印刷製本費 72千円 ・消耗品 35千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○寄贈を受けた写真資料のデジタル化を進めることにより、市内文化財の啓発活動等に容易に活用できる資料とすることができた。</p> <p>○発掘調査の調査資料にはスライドも多くあり、資料の劣化などが懸念されるため、スライド資料のデジタル化も検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	IV 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
2,060千円		2,100千円	40千円	98.0%
目的	市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るため、また、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげるため、発掘調査等を実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成23年度は、将来の開発が見込まれる地域を重点的に調査し、遺跡の保存を図り、今後の開発調整に役立てるため、市内遺跡分布調査を実施した。</p> <p>調査は網野町と久美浜町の一部において実施した。併せて、赤坂今井墳墓出土品（京都府指定文化財）のうち鉄製品について、展示等に活用するため理化学的保存処理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分布調査期間：現地調査11月21日～3月30日 ・遺物保存処理事業対象物件：赤坂今井墳墓出土品 鉄製品10点 <p>○分布調査経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済費 労災保険料、雇用保険料 12千円 ・ 賃金 分布調査補助員賃金（作業日数62日、延べ155人） 1,062千円 ・ 旅費 調査に関する学識者指導旅費、連絡旅費 42千円 ・ 需用費 測量用具等消耗品 40千円 調査用車両ガソリン代 14千円 分布調査地図コピー代 46千円 ・ 使用料及び賃借料 調査用車両借上料 189千円 <p>○遺物保存処理経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料 出土遺物保存処理委託料 655千円 			
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2）		1,000千円
	府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）		500千円
評価・課題等	<p>○遺跡等の分布事業を実施することで、埋蔵文化財の所在などの情報がより明確に得ることができ、今後の開発事業の際に、よりスムーズな対応を可能とすることができた。今後、特に久美浜・丹後町地域の調査を進める必要がある。</p> <p>○出土遺物の保存処理を行ったことにより、発掘調査の成果として公開し活用することが可能となった。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費
細事業名	01 文化財保護一般経費			決算書 P.352
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
604千円		638千円	34千円	94.6%
目的	文化財保護課に係る各種団体への補助金の交付や負担金を支出するほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金の支出や関係団体への補助金の交付を行ったほか、文化財保護課所管施設の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財関係加盟団体経費 71千円 <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市が加盟する文化財関係団体負担金等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国史跡整備市町村協議会 50千円 ・全国鳴き砂ネットワーク 21千円 ○峰山伝統芸能振興会補助金 50千円 ○文化財収蔵施設維持管理費 <ul style="list-style-type: none"> 資料館以外で所管している文化財収蔵施設に係る維持管理費 (成路分校、十楽倉庫、旧三重保育所、丹後震災記念館) <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 46千円 ・電話料・火災保険料 107千円 ・機械警備委託料・草刈委託料 174千円 ・修繕料(旧口大野村役場ブロック塀撤去) 52千円 ○一般事務経費 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 21千円 ・旅費 15千円 ・市道葛野箱石線事故示談金(平成23年5月23日、史跡函石浜遺物包含地) 68千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財保護事務及び所管施設の維持管理について、適切に実施することができた。 ○施設の維持管理について、長期継続契約の締結等により、経費の節減に努めている。 			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業	
細事業名	01 市史編さん事業（繰越）			決算書	P.350
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
650千円		650千円		0千円	100.0%
目的	京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知ってもらうため京丹後市史を刊行する。また、調査結果を文化財セミナー等で報告するなど、文化財の普及啓発を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○丹後町内社寺建築調査委託業務 650千円</p> <p>平成22年度からの繰越事業である本業務について、調査を終了し報告書を60冊刊行した。平成26年度に刊行する予定の資料編『京丹後市のまちなみ・建築』の基礎資料とする。</p>				
主な財源					
評価・課題等	年度内に完了できるよう、事業計画・管理等十分配慮していく必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	Ⅳ 生涯学習都市	計画項目	⑤ 歴史文化遺産の保全と活用
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
8,603千円		10,979千円	2,376千円	78.3%
目的	京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知ってもらうため、京丹後市史を刊行する。また、調査結果を文化財セミナー等で報告するなど、文化財の普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	本文編2冊と資料編12冊の刊行のため各種調査を実施した。平成23年度は資料編『京丹後市の伝承・方言』を刊行した。			
	○編さん委員報酬（調査報酬 延べ31人）	687千円		
	○市史編さん専門委員報酬（編さん補助業務1人、週4日勤務） 日額9,000円×1人×204日=1,836千円	1,836千円		
	○共済費（専門委員社会保険料）	251千円		
	○各専門部の調査（8専門部 部員20人） 調査員謝金日額7,000円×193日=1,351千円	1,351千円		
	○費用弁償（調査員旅費）	834千円		
	○京丹後市史資料編『京丹後市の伝承・方言』の刊行 600部作成。京丹後市史の4冊目の刊行物	1,669千円		
	○使用料及び賃借料（調査員宿泊費）	543千円		
	○峰山町内社寺建築調査委託料（神社31件、寺院13件）	700千円		
	○その他事務経費（職員旅費、消耗品等）	732千円		
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	8,679千円	
		実質的な予算執行率	99.1%	
	■平成24年度への繰越事業	2,300千円		
	本文編『図説京丹後市の歴史』印刷業務	平成24年10月完了予定		
主な財源				
評価・課題等	○『京丹後市の伝承・方言』の刊行は、報道等により大きな話題となり、京丹後市出身の市外在住者を含めた多方面から問い合わせが多くあるなど、京丹後市にまつわる伝承等について広く注目を集めることができた。 ○京丹後市民に向けては市広報などにより周知をしているが、市外への広報についても更に積極的に行う必要がある。			
事業所管課	教育委員会事務局／文化財保護課			